

平成 20 年 11 月 21 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 20 年 11 月 21 日 (金曜日)

午後 3 時 30 分から午後 4 時 50 分まで

2 場 所 長岡市教育委員会会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委員 内藤 博子 委員 羽賀 友信

委員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課兼学務課長 押見 康雄

学校教育課長 腮尾 理 子ども家庭課長 矢沢 康子

保育課長 若月 和浩 中央公民館長 鈴木 正行

中央図書館長 小野田 信子 科学博物館長 山屋 茂人

教育センター所長補佐 田村 浩 学校教育課主幹兼管理主事 星野 和人

学校教育課主幹兼管理主事 島倉 昭宏

5 事務のため出席した者

教育総務課庶務係長 長谷川 雅泰 教育総務課庶務係 白井 健

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 42 号	指定管理者指定の申出について (長岡市法末自然の家の指定管理者の指定)
3	第 43 号	平成 19 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び 評価報告書について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 1 1 月定例会を開会する。

◇ 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、内藤委員及び加藤委員を指名する。

◇ 日程第 2 議案第 42 号 指定管理者指定の申出について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 42 号 指定管理者指定の申出について を議題とする。事務局の説明を求める。

(矢沢子ども家庭課長) 「長岡市法末自然の家」は、小国地域の法末集落にある廃校になった小学校を利用し、青少年を中心とした体験宿泊施設として活用している。この施設について平成 18 年度に指定管理者制度を導入し、「法末振興組合」に管理運営委託をしてきたが、今年度で指定期間が終了することから、来年度からの指定管理者の募集を行った。結果は現在の指定管理者である「法末振興組合」1 団体から申請があり、10 月に長岡市文化施設指定管理者選定委員会を開催し、この団体が妥当であるかどうかについて選定を行った。この結果、「法末振興組合」を優先交渉者とするこ
とで了解を得たものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

◇ 日程第3 議案第43号 平成19年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

(大橋委員長) 日程第3 議案第43号 平成19年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題とする。事務局の説明を求める。

(押見教育総務課長) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会は、毎年、権限に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務化された。

点検及び評価の方法は、教育委員会会議の開催及び審議状況、長岡市総合計画に掲げている「基本政策」について、まず、各課で自己点検・評価し、次に、これを事務評価委員会で点検・評価するものである。報告書の体裁については、事務局が作成した点検評価に、事務評価委員会の意見を付記する形とした。

これまでの経過は、10月15日に第1回事務評価委員会を開催し、各課で自己点検・評価したものを審議した。次に、11月17日に第2回事務評価委員会を開催し、最終的な審議をし、その日付で報告をしたものである。

議会への報告は、12月5日、9日に議会各派への説明を行い、12月議会に報告案件として提出するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 事務評価委員会の意見等に大変成果があり素晴らしいという意見がある一方、マンネリ化に陥らないように改善を望みたいという意見も見受けられた。事務局には今後一層努力してもらいたい。

(大橋委員長) 他にないようなので、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 以上をもって、本日の日程は終了する。続いて、協議報告事項に移る。まず、協議事項に移る。平成 21 年度の新規事業について 事務局の説明を求め

る。

(押見教育総務課長) 地上デジタルテレビ整備事業については、平成 23 年 7 月の地上デジタルテレビ放送完全移行に対応するためのものである。平成 21 年度は受信調査、アンテナの改修設計を行い、22 年から 23 年度にアンテナ改修工事、デジタルテレビ、チューナーの購入を行い、どの教室でもデジタル放送を受信できる環境を整備するものである。

また、学校施設を原因とする受信障害対策設備についても、ケーブルテレビへの移行を行うこととし、21 年度に受信世帯への補償を行い、23 年度に当設備を廃止するものである。

養護学校整備拡張事業については、平成 23 年度以降に養護学校の教室不足が見込まれるため、現在地で養護学校高等部を小・中学部と一体的に整備拡張をするものである。

宮内中学校校舎等改築事業については、校舎等の老朽化が著しいため、改築するものである。現在、改築にあたり学区の代表者からなる宮内中学校校舎等改築事業検討委員会及びその下部組織として学校職員・教育委員会職員を中心とした検討ワーキングを開催し、基本計画に対する意見等集約を行っている。

(押見学務課長) 遠距離通学児童生徒支援事業については、来年度の和島小学校開校に伴い、スクールバスの運行を行うものである。中型バス 2 台をリースし、運転も委託する計画である。

学校給食調理業務委託事業については、現在、小学校 10 校、中学校 4 校、共同調理場 1 施設で実施しているが、来年度は新規に小学校 3 校、中学校 1 校を加えるものである。

(腮尾学校教育課長) 劇団四季夢づくりミュージカル事業については、今年度も実施したものであるが、劇団四季の来年度も引き続き長岡市で公演を実施したいという意向を受けてのものである。費用については、劇団四季が企業スポンサーを募るとの

ことである。11月2日に全小学校の6年生を対象とし、午前・午後の2回公演で行う計画である。

ふれ愛芸術体験事業「能楽体験教室」については、社団法人日本能楽協会に登録している長岡市出身の能楽師の方がおり、この方の長岡市で小中学生を対象に能楽体験教室を実施したいという意向を受けてのものである。内容は、単に能を鑑賞するだけではなく、実際に楽器に触れる参加型を考えている。

オペラ「夕鶴」長岡公演小中学生招待事業については、平成19年10月にチェコ共和国オパヴァ市で公演された日本語オペラ「夕鶴」を長岡市を含む国内6都市で開催するものである。長岡公演では、希望する小中学生を無料で招待する。

(矢沢子ども家庭課長) 子育ての駅運営事業については、現在、千秋が原に子育ての駅を建設中であり、これは公園事業として、土木費で建設を進めているが、来年3月31日に完成し、4月1日からは子ども家庭課が運営を担っていくものである。これは、公園のなかで、子育てに関する相談ができる、全国初の公園一体型の子育て支援施設であり、国から建設費の2分の1の補助をいただいている。子育て世代の親子だけではなく、次代の親となる若者や子育ての先輩である方々が集いあう、世代を超えた交流の輪を広げていくものとして準備している。

マタニティマーク普及事業については、「マタニティマークをとおした妊婦にやさしい環境づくり」を推進するため、今まで、このマークをちらしやポスターに使用し、浸透を進めてきたところであるが、来年度からは、マタニティマークホルダーとして母子手帳を交付する際、共に配布し、鞆などに付けてもらい、周囲に配慮を促すとともに、妊婦自身にもこれから赤ちゃんを育てていくという自覚を高めるものである。

(大橋委員長) これまでの説明について質疑、意見はないか。

(加藤委員) 教育総務課の地上デジタルテレビ整備事業について、21年度の受信調査とはどういうものか。

(押見教育総務課長) 現在の校内アンテナや配線で受信できるかどうかを調査するものである。未対応の学校については、改修の必要性を調査する。

(加藤委員) 各教室に設置する必要性を把握するため、現在のテレビの活用状況も調査してほしい。

(押見教育総務課長) その予定である。テレビの利用目的についても調査する。

(大橋委員長) 学校教育課の事業については、スポンサーがつくのか。

(腮尾学校教育課長) 劇団四季夢づくりミュージカル事業については、スポンサーがつき、市の負担は、児童輸送経費のみである。

オペラ「夕鶴」長岡公演小中学生招待事業については、市の負担は、ちらしやポスターの印刷代である。

(羽賀委員) 教育総務課の養護学校整備拡張事業について、子どもの数が減少しているなかで、障害を持つ子どもは増加しているのか。

(押見教育総務課長) そうである。

(大橋委員長) 他にないようなので、引き続き事務局の説明を求める。

(若月保育課長) 保育園耐震化促進事業については、震災時における子どもたちの生命の安心、安全を確保するため、保育園・幼稚園の耐震化を計画的に実施するものである。公立保育園については、昭和 56 年以前に建設された 15 園に対し、今年度、耐震化優先度調査を行った。この優先度ランクの高い保育園から、4 か年計画で耐震診断を行い、学校同様に I s 値が 0.7 以下の保育園は耐震改修を行う。

なお、私立の保育園・幼稚園については、21 年度に実態調査を行い、必要な措置を講じる。

保育園避難所機能整備推進事業については、大規模な災害発生時に、住民の避難所に指定されている保育園の避難所としての機能を整備するものである。玄関スロープ設置、大人用トイレ整備、テレビの購入等を 5 か年計画で順次整備することを考えている。

(小野田中央図書館長) 図書館サービス充実事業については、市民要望に沿って、利用者の拡大と利便性を図るものである。内容としては、図書館未設置の合併地域に本の取り寄せ・返却のできる取次所の設置、電話による本の予約・貸出延長の受付、仕事帰りの人にも利用してもらえよう中央図書館の平日の開館時間を 1 時間延長するものである。

子ども読書活動推進計画策定事業については、「子ども読書活動の推進に関する法律」の施行に基づき、21・22 年度の 2 年間で、有識者による策定検討委員会を実施し、学校、地域、家庭での子どもの読書環境整備のための計画を策定するものである。

(山屋科学博物館長) 順動丸シャフト保存活用事業については、戊辰戦争時に寺泊

沖で自爆した徳川幕府順動丸のシャフトを風雨による劣化や損壊から防ぐため、現在展示されている寺泊水族博物館駐車場から寺泊文化センターへ移設し、ロビーで仮展示を行うものである。

中之島民俗資料館解体・資料保存整備事業については、隣接する中之島体育館の建替えに伴い、老朽化著しい中之島民俗資料館を撤去・除去し、収納資料の一部を中之島公民館で展示し、残りを寺泊山ノ脇センターで保存するものである。

旧長谷川家住宅オープニング記念事業については、新潟県中越地震及び新潟県中越沖地震で被災した旧長谷川家住宅の修復工事が今年度中に完了し、来年度一般公開を再開することに伴い、オープニングイベントを開催するものである。

(大橋委員長) これまでの説明について質疑、意見はないか。

(加藤委員) 保育課の保育園避難所機能整備推進事業について、避難所に指定されている保育園はいくつあるのか。

(若月保育課長) 公立保育園 49 園のうち 45 園が避難所に指定されている。

(中村委員) 中央図書館の図書館サービス充実事業について、電話による本の予約・貸出延長の受付は、利用者の手間を省くので、市民にとってありがたい事業である。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に報告事項に移る。悠久山公園小動物園トキ近縁種の一般公開について 事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 多摩動物園からトキ近縁種のクロトキ 4 羽、ムギワラトキ 2 羽を譲り受け、11 月 13 日から飼育を開始し、11 月 14 日から一般公開した。目的は、近縁種による繁殖実績を積み、本物のトキを誘致するためである。公開時間については、繁殖を成功させるため、夜間休ませる必要があるとの環境省から指導があったので、午前 8 時 30 分から午後 5 時までとした。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(内藤委員) 大きな鳥であると思うが、ケージは適切な広さを確保しているか。

(山屋科学博物館長) 最初にケージに放した時は、興奮して飛んだが、強い衝撃でぶつかることもなく、十分な広さを確保している。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 携帯電話等被害防止講習会の実施報告について 事務局の説明を求める。

(腮尾学校教育課長) 10月に市内4地域で長岡少年サポートセンターの少年補導員を講師とし、携帯電話等被害防止講習会を実施した。参加者は、4地域合計で196人であり、その内訳は保護者6割、教職員4割であった。参加者にアンケートを実施した結果、「とても参考になった」「まあまあ参考になった」を合わせると97%になり、好評であったと考えている。内容については、より多くの事例紹介や具体的な対処方法など、踏み込んだ内容を求める意見も多かった。

来年度に向けては、今年度の参加者が予想より少ない状況であったため、市P連とも連携し、多くの保護者に参加してもらえるよう啓発活動を進めていくことを考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 学校裏サイト等で教職員が標的にされているという話を聞いたことがあるが、長岡市でもそういったケースはあるか。

(腮尾学校教育課長) 現在のところ、そういうケースは把握していないが、今後校長会等の場で調べてみたい。

(大橋委員長) 他にないようであれば、次に 第2回熱中！感動！夢づくり教育推進会議の実施報告について 事務局の説明を求める。

(腮尾学校教育課長) 今年度の全61事業がほぼ終了したことを受け、各担当課から事業概要と来年度の方向性の報告を受けたものである。全61事業の中で、来年度の方向性として継続が55事業、拡充が4事業、廃止又は見直しが2事業であった。

また、熱中！感動！夢づくり教育が来年度5年目に当たることから、本事業を客観的に分析し、成果と課題を明確にするため中間評価を実施したいと考えている。評価方法の案としては、各事業における評価の観点を3つ以内に定め、各々必要に応じてアンケート調査し評価する。更に、事業の成果と課題、改善の方策を記述したうえで、総合評価を行ないたいと考えている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(大橋委員長) 他に協議報告事項はないか。

(大橋委員長) これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、これをもって閉会とする。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員